

江ノ口排水機場見学会

全員の手紙を紹介することができませんでした。

ごめんなさい！

排水機場の方へ

私は排水機場を何回も見たことがあったので中を見たいなと通るたびに思っていました。でもいつも静かだったのでなんかこわいなと思いました。でも中に入ると機械がたくさんあったのでびっくりしました。津波とふうの波ではおこりがちがうことを初めて知りました。人のひざぐらゐまで津波が来たとしても人はたおれることにびっくりしました。それぐらいでたおれてしまうのなら南海大地震の時はもっと強い津波がくるのでちゃんとひなんしなければいけないことが分かりました。

赤い門が外にあったのは、朝がいかないようにすることが分かりました。なので、排水機場は、昭和校区の

「トロー」というものなので大切なそんざいと

いうことが分かりました。

いつもは見学はだめなのにいかしてくれてありがとう

ございました。

昭和小学校 5年



排水機場のみなさんへ

7月29日には、排水機場の見学をさせていただきました
てありがとうございました。私が一番へえ~と思ったこ
とは、ふだん排水機場には、人がいなく、月に約4
回点検をするのでその時に5人ぐらいの人が排水機
場に行くということです。私は、いつも人がいると思っ
ていたのでびっくりしました。人がいない時に地しんにな
たりして、しん度5強以上になると、地しん計をつけてい
るので勝手に水門がしるということが分かりました。
しかし、水門がこわれる可能性もあるので今、水門を
強くするために工事をしているということも分かりました。
それと、ポンプには、1号、2号、3号と名前がそれぞれあ
り、1秒間に25トン、水がでると聞いて、すごく、大き
くすごいな~と思いました。見学をして、排水機
場は、県や市を守っているということが分
かりました。この勉強を生かしてい
たいです。

昭和小学校 5年生



排水機場のちへ

私は排水機場へ見学に行って
初めて知たことは排水機場は
停電時でも、災害時でも、と考えて
発電機をよういしたりしていること
です。このことから排水機場は近所
の人たちのことを考えて行動してい
るということが分かりました。
津波のおそろしさを表すビデオや
写真を見て排水機場はこんな
ことから私たちを守ってくれている
んだ。と思いました。排水機場の見
学ではふたん見れないところな
どを見たり聞いたりしてとても
ためになりました。ありがとう
ございました。



昭和小学校
5年生

排水機場のみな様へ

この前は、見学させていたたいて ありがとうございます。私は初めて知ることかたくさんありました。たとえば、ポンプは1秒間に25センチの水をくみたせると聞いてびっくりしました。

あとコンクリートがこわれてしまうと聞いてそれはこわいなと思いました。

私は排水機場の近くに家があるので、今までどんなことをするのかなど思っていました。でもこの見学で排水機場は地震の時にとっても役立つことだと分かりました。

本当にありがとうございます。

昭和小 5年生



1月28日は、めったにみせて

もらえない排水きじょうを見学させて
くれてありがとうございました。ぼくは
このがくしゅうで学んだことをこれか
らのほうさく学習にいかしていきた
いと思いました。

ぼくは排水きじょうの見がくをして
排水きじょうのことをこんなにおい
してくれたので、ぼくは排水き
じょうの人にかんしゃしています。今日
は本当にありがとうございました。
こんど5年生になる人にも、ぼくは

このがくしゅうでなつたこし
を教えてきたいと思います。
本当にありがとうございました。

5年2組



排水機場を見学して分かったこと

まず排水機場と防災の関係は、津波の対さくということがわかりました。そして、ふつうの波と津波のちがいについて「津波の特ちょう12こ」を教わりました。今回の見学で「おどろいたことベスト3」は…

3位ポンプが1秒にすいあげる水の量がなんと20t(車15台分)だったこと。2位子供が手をつないでポンプの周りを囲むと約 $\frac{2}{3}$ 人必要だったこと。1位これはやっぱりあのエンジンのうるささです。耳にキーンとききました。

他にも、津波のはやさかジェット機なみという事やいつもは無人ということ、高潮のしくみについてさらに津波が厚いコンクリートもこわすということでした。排水機場はとても防災にかかわっていると思いました。

排水機場施設の見学から分かったこと

5年1組

わたしが想像していたよりも、大きな機械がたくさんありました。一番びっくりしたのはのがノイフです。あんなに大きなパイプがあったらゆかかがぬけるんじゃないのかなー?とふしぎでした。きずかれずにヘタとさわってみました。そしたら、とってもかたくてつめたかったです。工場には、地しんのたいさくや津波がきたときのため、水門をしめるしくみもあります。津波の時それは720kmでジェット機なみなので水門はしめても、あふれたり、破れたりしないのかな?と思いましたがそれはないとおしえてくれました。ふたん工場の中の一か所は無~~人~~人ということでした。わたしはたいじょうぶかな?と思いましたが、災害の時なんかは人がいるそうです。たくさんの方が分かりました。ありがとうございました。

排水機場施設の見学から分かったこと

人が知らないところでがんばっているのですごいなーと思いました。エンジンを付けてくれた時、音がうるさくて、人の声も少しか聞こえませんでした。この昭和地区を津波から守ってくれているので、感謝しないとなと思いました。次に水門を工事していました。古くなると津波がとめられなくなってしまうらしいのです。点検も必要なことが分かりました。津波はひざぐらいの波でも流されるということが分かりました。小さい波でも命をおとすこともあることが分かりました。

すごく分かりやすく、いい資料で勉強できてよかったです。これをいかしてやっていきたいと思っています。

排水機場施設の見学からわかったこと

ぼくは、今日の見学してわかったことは、排水機場

が作られたのは、高知市に水がはしらないように

できていることがぼくはわかりました。ほかには、

上がらないようにとだけ大雨とかで水がふえたり

したら、ポンプですってへらしていくことがわかりました。

排水機場の人たちがゆうには、3分から30のあいだに津波

がくるとゆうことがわかりました。しんどくても、こえたりじとて

きは排水機場のもんがしまる。大雨のときは水が増え

るのがはやい。ポンプまじりは昭和46年につくられたからす

ごいと思いました。排水機場がこんなによくはたってる

とは、しりませんでした。